

# INAC 神戸サッカー教室



<https://inac-kobe.com/>

INAC 神戸レオネッサのHP




発行所  
蓮池小学校校長室  
郵便番号 653-0838  
神戸市長田区大谷町 1-1-10

[https://www.kobe-c.ed.jp/\\_view/hsi-es](https://www.kobe-c.ed.jp/_view/hsi-es)

今年度の目標

- あいさつをする
- なかよくすごす
- いのちを守る



アイナック神戸の選手を特別コーチとしてお迎えし、2年生にサッカーを教えていただきました。

6チームに分かれ、どんどんシュートを狙いました。とても楽しくサッカーの基本を学ぶことができました。

**リーグ戦首位!!**

特別コーチは  
イスピン 選手  
カルロタスアレス 選手  
高瀬愛実 選手  
久保田真生 選手  
三谷和華奈 選手  
の5名です。

神戸市女子サッカー振興事業の一環として訪問していただきました。にこにこいっぱいでした。アイナック神戸は現在Wリーグ首位を快走中です。Jリーグとともに神戸のW優勝を応援しています!

## 師走ですが、弟歩で安全に

早いもので12月に突入です。12月は「師走(しわす)」の他にもいくつか呼び方があります。一年の最後の月の意味から「極月(ごくげつ、ごくつき)」「窮月(きゆうげつ)」「限りの月(かぎりのつき)」などの異称があります。また、古い年を除くという意味で「除月(じよげつ)」とも呼ばれます。これは、大晦日の晩を「除夜(じょや)」と呼ぶのと同じ理由ですね。

この他にも「梅初月(うめはつづき)」「や「春待月(はるまちづき)」と言われ、春への期待が込められた意味で呼ばれることもあります。一年の終わりにあるとともに、新しい一年に思いを馳せる月でもあることが分かります。

「師走」の由来は、僧侶のような普段落ち着



最近、子供たちも多忙なか廊下や階段を勢いよく走っている姿が見受けられます。寒い季節に元気よく体を動かすことは良いのですが、走る場所が違います。衝突すれば大怪我につながります。「師弟」という言葉があります。「師」は走れども「弟」は落ち着いて、ゆっくり歩んでほしいものです。

12月5~10日  
個別懇談会



生きる  
谷川俊太郎

生きているということ  
いま生きているということ  
それはミニスカート  
それはプラネタリウム  
それはヨハン・シュトラウス  
それはピカソ  
それはアルプス  
すべての美しいものに出会うということ  
そして  
かくされた悪を注意深くこぼむこと  
生きているということ  
いま生きているということ  
泣けるということ  
笑えるということ  
怒れるということ  
自由ということ  
生きているということ  
いま生きているということ  
いま遠くで犬が吠えるということ  
いま地球が廻っているということ  
いまどこかで産声があがるということ  
いまどこかで兵士が傷つくということ  
いまぶらんこがゆれているということ  
いまいまが過ぎてゆくこと  
生きているということ  
いま生きているということ  
鳥ははばたくということ  
海はとどろくということ  
かたつむりははうということ  
人は愛するということ  
あなたの手のぬくみ  
いのちということ